

2025年10～12月期の景況調査結果

質問1 今期(10～12月)と前年同期の経営上の比較、および来期(1～3月)の見通しについて

売上高DIは業種総合で見ると、前回より10.6ポイント改善の5.3となった。一方、収益状況DIは、総合と3つの大分類全てで前回と同値かほぼ同一水準となっている。

DI 値	イ. 売上高		ロ. 売上単価		ハ. 資金繰り		ニ. 借入難度 (手形割引含む)		ホ. 収益状況 (経常利益)		ヘ. 雇用人員 (人手の過剰・ 適正・不足)		ト. 自社の業 況判断	
	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し	今回 調査	来季 見通し
総合	5.3	△14.7	24.0	0.0	△18.7	△17.3	△13.3	△9.3	△24.0	△24.0	△26.7	△28.0	△6.7	△8.0
もの造り	13.6	△9.1	31.8	13.6	△4.5	△4.5	△9.1	△4.5	△9.1	△9.1	△36.4	△22.7	△4.5	4.5
卸・小売関連	15.0	△10.0	20.0	△10.0	△15.0	△20.0	△5.0	△10.0	△30.0	△25.0	△35.0	△45.0	△10.0	△10.0
サービス業関連	△6.1	△21.2	21.2	△3.0	△30.3	△24.2	△21.2	△12.1	△30.3	△33.3	△15.2	△21.2	△6.1	△15.2

※DI 値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

質問2 今期直面している経営上の問題点

前回と同様、総合1位は「仕入価格の上昇」となった。また、「人件費等の経費の増加」が25%で総合2位となった。

総合	1位	2位	3位
今回調査	仕入価格の上昇(52%)	人件費等の経費の増加(25%)	売上が増えない(23%)
前回調査	仕入価格の上昇(52%)	売上が増えない(31%)	人件費等の経費の増加(29%)

質問3 現在(今後)進めている(いく)経営改善対策

総合の順位は前回と同じであった。「売上高増加策」は回答割合が35%に減少したが引き続き1位となっている。

総合	1位	2位	3位
今回調査	売上高増加策(35%)	販売単価上昇策(29%)	経費削減策(25%)
前回調査	売上高増加策(41%)	販売単価上昇策(27%)	経費削減策(25%)

質問4 最低賃金の引き上げが与える影響

75者による全回答(126)の中で最も多かったのは「特に影響がない」で26者、回答総数に対する割合は21%であった。次に多いのは「人件費の増加」で25者(20%)であった。

- 1 人件費の増加
- 2 利益率の低下
- 3 価格改定の必要性
- 4 勤務時間の調整
- 5 人員整理
- 6 省力化のための投資
- 7 従業員モチベーションアップ
- 8 賃金体制の見直し
- 9 競争力の変化
- 10 経営計画・予算の見直し
- 11 特に影響はない
- 12 従業員はいない
- 13 その他

